

第 2 期君津地域広域廃棄物処理事業
に係る環境影響評価書

令和 4 年 12 月

株式会社上総安房クリーンシステム

目 次

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1
1.1 事業者の名称	1-1
1.2 代表者の氏名	1-1
1.3 主たる事務所の所在地	1-1
第2章 対象事業の名称、目的及び内容	2-1
2.1 対象事業の名称	2-1
2.2 対象事業の目的	2-1
2.3 対象事業の内容	2-1
2.3.1 対象事業の種類の細分	2-1
2.3.2 対象事業が実施されるべき区域の位置	2-1
2.3.3 対象事業の規模	2-5
2.3.4 その他対象事業の内容に関する事項	2-5
2.3.5 対象事業と密接に関連し一体的に行われる事業	2-9
2.3.6 対象事業の内容で、その変更により環境影響が変化するもの	2-9
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3-1
3.1 自然的状況	3-1
3.1.1 大気質の状況	3-1
3.1.2 気象の状況	3-13
3.1.3 水質の状況	3-16
3.1.4 水象の状況	3-23
3.1.5 水底の底質の状況	3-25
3.1.6 騒音の状況	3-26
3.1.7 振動の状況	3-30
3.1.8 悪臭の状況	3-31
3.1.9 地形及び地質等の状況	3-32
3.1.10 地盤の状況	3-35
3.1.11 土壌の状況	3-37
3.1.12 植物の生育及び植生の状況	3-40
3.1.13 動物の生息の状況	3-50
3.1.14 生態系の状況	3-72
3.1.15 景観の状況	3-73
3.1.16 人と自然との触れ合いの活動の状況	3-76

3.2	社会的状況	3-78
3.2.1	人口の状況	3-78
3.2.2	産業の状況	3-79
3.2.3	土地利用の状況	3-80
3.2.4	河川及び海域の利用並びに地下水の利用の状況	3-83
3.2.5	交通の状況	3-89
3.2.6	学校、医療施設その他の環境保全についての配慮が特に必要な施設の配置の 状況及び住宅の配置の状況	3-91
3.2.7	下水道の整備の状況	3-94
3.2.8	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域、その他の対象及び 当該対象に係る規制の内容その他の状況	3-95
3.2.9	その他の事項	3-124
第4章	関係地域	4-1
第5章	方法書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及びそれに対する事業者の見解	5-1
第6章	方法書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解	6-1
第7章	対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法と結果	7-1
7.1	環境影響評価の項目	7-1
7.1.1	活動要素の選定	7-1
7.1.2	環境影響評価項目の選定	7-3
7.2	調査、予測及び評価の手法と結果	7-12
7.2.1	大気質	7-12
7.2.2	水質	7-142
7.2.3	騒音及び超低周波音	7-156
7.2.4	振動	7-207
7.2.5	悪臭	7-249
7.2.6	土壌	7-267
7.2.7	植物	7-290
7.2.8	動物	7-326
7.2.9	景観	7-389
7.2.10	廃棄物	7-417
7.2.11	残土	7-425
7.2.12	温室効果ガス等	7-428

第8章 環境の保全のための措置	8-1
8.1 大気質	8-1
8.1.1 建設機械の稼働による粉じん等	8-1
8.1.2 工事用車両の走行による沿道大気質	8-1
8.1.3 廃棄物処理施設の稼働による大気質	8-2
8.1.4 廃棄物運搬車両の走行による沿道大気質	8-3
8.2 水質	8-3
8.2.1 工事の実施による水質	8-3
8.3 騒音及び超低周波音	8-5
8.3.1 建設機械の稼働による騒音	8-5
8.3.2 工事用車両の走行による道路交通騒音	8-5
8.3.3 廃棄物処理施設の稼働による騒音	8-6
8.3.4 廃棄物運搬車両の走行による道路交通騒音	8-6
8.3.5 廃棄物処理施設の稼働による超低周波音	8-6
8.4 振動	8-7
8.4.1 建設機械の稼働による振動	8-7
8.4.2 工事用車両の走行による道路交通振動	8-7
8.4.3 廃棄物処理施設の稼働による振動	8-8
8.4.4 廃棄物運搬車両の走行による道路交通振動	8-8
8.5 悪臭	8-9
8.5.1 廃棄物処理施設等からの悪臭	8-9
8.6 土壌	8-10
8.6.1 工事の実施による土壌	8-10
8.7 植物	8-11
8.7.1 工事の実施及び施設の存在等による植物	8-11
8.8 動物	8-12
8.8.1 工事の実施及び施設の存在等による動物	8-12
8.9 景観	8-13
8.9.1 施設の存在等による景観	8-13
8.10 廃棄物	8-13
8.10.1 工事の実施による廃棄物	8-13
8.10.2 供用時の廃棄物	8-14
8.11 残土	8-14
8.11.1 工事の実施による残土	8-14
8.12 温室効果ガス等	8-15
8.12.1 ばい煙及び排出ガス（自動車等）の発生による温室効果ガス等	8-15

第 9 章 監視計画	9-1
9.1 事後調査を行うこととした理由	9-1
9.2 事後調査の項目及び方法	9-1
9.2.1 工事の実施	9-1
9.2.2 土地又は工作物の存在及び供用	9-1
9.3 環境影響の程度が大きいことが明らかとなった場合の方針	9-1
9.4 事後調査の結果の公表	9-1
9.5 事後調査の実施主体等	9-1
 第 10 章 環境影響の総合的な評価	 10-1
10.1 大気質	10-2
10.1.1 建設機械の稼働による粉じん等	10-2
10.1.2 工事用車両の走行による沿道大気質	10-3
10.1.3 廃棄物処理施設の稼働による大気質	10-4
10.1.4 廃棄物運搬車両の走行による沿道大気質	10-6
10.2 水質	10-7
10.2.1 工事の実施による水質	10-7
10.3 騒音及び超低周波音	10-9
10.3.1 建設機械の稼働による騒音	10-9
10.3.2 工事用車両の走行による道路交通騒音	10-10
10.3.3 廃棄物処理施設の稼働による騒音	10-11
10.3.4 廃棄物運搬車両の走行による道路交通騒音	10-12
10.3.5 廃棄物処理施設の稼働による超低周波音	10-13
10.4 振動	10-14
10.4.1 建設機械の稼働による振動	10-14
10.4.2 工事用車両の走行による道路交通振動	10-15
10.4.3 廃棄物処理施設の稼働による振動	10-16
10.4.4 廃棄物運搬車両の走行による道路交通振動	10-17
10.5 悪臭	10-18
10.5.1 廃棄物処理施設からの悪臭	10-18
10.6 土壌	10-19
10.6.1 工事の実施による土壌	10-19
10.7 植物	10-20
10.7.1 工事の実施及び施設の存在等による植物	10-20
10.8 動物	10-21
10.8.1 工事の実施及び施設の存在等による動物	10-21

10.9	景観	10-22
10.9.1	施設が存在等による景観	10-22
10.10	廃棄物	10-23
10.10.1	工事の実施による廃棄物	10-23
10.10.2	供用時の廃棄物	10-24
10.11	残土	10-25
10.11.1	工事の実施による残土	10-25
10.12	温室効果ガス等	10-26
10.12.1	ばい煙及び排出ガス（自動車等）の発生による温室効果ガス等	10-26
第11章	委託の状況	11-1
11.1	受託者の名称及び代表者の氏名	11-1
11.2	受託者の主たる事務所の所在地	11-1
第12章	準備書に対する環境の保全の見地からの意見の概要及び それに対する事業者の見解	12-1
第13章	準備書に対する知事の見解及びそれに対する事業者の見解	13-1
第14章	準備書の記載事項の修正の内容	14-1
資料編		